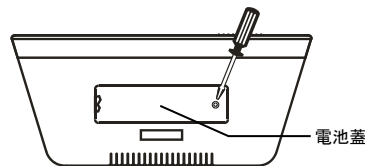


■重要事項：電池絶縁シールを取り除く際に、まれに絶縁シールが損傷し、一部取り除けないことがあります。このような時は、適切なサイズのネジ回し（本体には含まれておりません）を用いて電池蓋を開け、電池を取り出して絶縁シールの残りを取り除いてください。電極の＋を確認して電池を元に戻し、電池蓋を閉めてからRESETボタンを押して初期時刻を表示してください。




時計をご使用になる前に

この時計は、ソーラー発電と単3乾電池1個を主な電源として使用しています。通常の室内の明るさで使用された場合は、ソーラー発電の動力を使用し乾電池の動力の使用が抑えられる仕組みです。輸送中や保管中の電池の自然放電を防ぐため電池絶縁シールを備えています。時計を最初にご使用になるときは、本体底部にある絶縁シールを慎重に引き抜いてからRESETボタンを一度押してください。一瞬ディスプレイに全ての表示要素が現れ、続いて正常使用の表示に変わります。

■重要事項：時計を箱から取り出した際に、まだ電池絶縁シールがついた状態でも時計がソーラー電力で動き始め、デジタル表示の一部が現れることがあります。この状態で電池絶縁シールを引き抜くと、時計は正しい駆動をしないことがありますので、電池絶縁シールを引き抜いてから必ずRESETボタンを押してください。

電池交換

電池容量が残り少なくなると、電池容量低下表示マーク（）が点滅しますので、新しい電池と交換して下さい。

■重要事項：電池容量低下表示マークが点滅してから、一定の期間内に電池交換が行われない時は、電池が漏液し時計を損傷することがあります。

電池蓋を開ける際は、適切なサイズのネジ回し（本体には含まれておりません）を用いて、電池蓋を開けて電極の＋を確認の新しい電池と交換して下さい。交換後は、電池蓋を閉じてからRESETボタンを押すと初期時刻が表示されます。

■重要事項：電池挿入後、RESETボタンが押されない場合には、時計は正常に駆動しないことがあります。このような場合は、RESETボタンを一度押して初期時刻を表示してください。

※操作中に不明な点が出てきた場合は、RESETボタンを押してください。設定されている内容が初期の状態に戻り、受信を再スタートします。

時刻電波の受信

この時計は、日本の標準時刻電波送信所より送信されている、時刻情報をのせた電波を受信することで、自動的に時刻合わせをおこないます。リセットボタンを押すと時計は自動的に電波受信を開始します。受信中は液晶右上の電波信号マークが点滅し受信が完了すると現在時刻を表示します。その際電波信号マークは液晶右上に常時表示されます。

注：電波信号の受信中に時刻または日付が手動で修正されると、受信は直ちに停止します。
注：RESETボタンのご使用は「1回・1秒程度」としてください。
※長押しした場合、IC等に不具合を生じる恐れがあります

この時計は標準時刻電波を受信することにより機能するためご使用場所によっては電波が弱く適切に受信できない場合があります。このような場合は電波信号マークが消え受信できなかったことを表しますのでその際は以下の方法をお試しください。

■一昼夜そのままにして様子を見る
夜間は比較的電波の状況が良くなりますので、受信する可能性が高くなります。

■SETボタンで再度電波受信をする
SETボタンを押すと再度電波受信状態になります。
本取扱説明書の<電波時計について>を参照し、電波を受けやすい場所で再度電波受信をしてください。

■設置場所を変えてみる
設置場所を変えて再度受信をさせて下さい。
設置場所を変える場合は、本取扱説明書の<電波時計について>を参照してください。

■手動で時刻を設定する
<手動による時刻設定の方法>を参照して時刻を手動で合わせてください。

アラームの設定

■アラーム時刻の修正/設定を始めるにはUPボタン、またはDOWNボタンを一度押してください。カレンダー表示部にアラーム時刻が点滅表示されます。そこでUPボタンまたはDOWNボタンを押して修正してください。どちらのボタンも一度押すごとに1分修正されます。“00”分を過ぎると時が変わります。修正中にUPボタンまたはDOWNボタンを約2秒間押すと早送りが出ます。

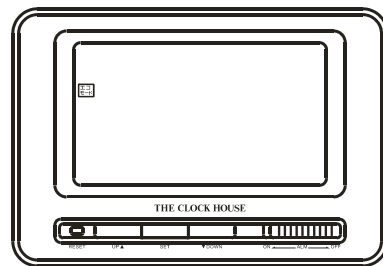
■アラームの時刻修正後にアラーム設定は5秒後に自動的に終了します。

■アラーム・スヌーズ機能
アラームを使用するためにALARMスイッチを“ON”に設定するとアラームマークが表示されます。時刻がアラーム設定時刻になると、アラーム音が（最長約5分間）鳴ります。SNOOZE/LIGHTボタンを押すとバックライトが点灯、アラームは停止します。そして約5分後に再度アラームが鳴ります。アラームが鳴り約5分後に停止すると、自動的にスヌーズ機能が動き、約5分後に再び鳴ります。スヌーズ機能を止めてアラームを完全にとめるにはALARMスイッチを“OFF”にしてください。

注：
この自動アラーム・スヌーズ機能は最大8回まで繰り返し、その後は停止します。

パワーセーブ（省エネ）機能

■この機能は周囲が暗い時に電気の消費を最小限に抑える機能です。時計の周囲が暗い時、時計はバッテリーの消費を少なくするために“パワーセーブ（省エネ）モード”に入り、ディスプレイからすべての表示が消え、“Eco-Mode”マークだけになります。周囲が再び明るくなると、ディスプレイは正常に戻ります。



パワーセーブ（省エネ）モード状態

注：
■時計がパワーセーブ（省エネ）モードから正常に復帰すると、数秒後に温度、湿度が表示されます。パワーセーブ（省エネ）モードでは温度と湿度センサーが停止するためです。時計が正常の機能に戻ると温度と湿度センサー機能が再び動き、現在温度と湿度を約3秒後に表示します。

■パワーセーブ（省エネ）モード中にSNOOZE/LIGHTボタンを押すと、ディスプレイは正常に戻り、約4秒間明るく光ります。（SNOOZE/LIGHTボタンを押した後2～3秒後に温度と湿度が表示されます）。その後、時計は再度パワーセーブ（省エネ）モードに戻ります。

バック・ライトについて

SNOOZE/LIGHTボタンを押すとバックライトが約4秒間点灯します。

手動による時刻設定の方法

■時刻修正を始めるためにはSETボタンを約2秒間押してください。“年”の数字が点滅します。UPボタンまたはDOWNボタンを押して修正してください。

■SETボタンを一度押します。月と日の数字が点滅します。UPボタンまたはDOWNボタンを押して修正してください。一回押すごとに日付数字が一つ変わります。月末/月初を越えるか、遡ると月が変わります。

■SETボタンを一度押します。時と分の数字が点滅します。UPボタンまたはDOWNボタンを押して修正してください。一回押すごとに1分変わります。分が“00”を越えると時の数字が変わります。

■SETボタンを押してください。これで修正（セット）作業は終了します。

注：
■修正中にUPボタンまたはDOWNボタンを約2秒間押すと早送りが出ます。
■修正中に約30秒間放置すると、修正を自動的に終了します。

製品仕様

<時計機能>
■東日本、西日本の標準電波送信局を自動選局して受信する電波修正機能付時計。（午前2時から3時間ごと、次の受信までクォーツの精度で動いています。）
■時計精度：平均月差±30秒以内（常温出の使用時）
（電波受信による時刻修正を行わない場合）
■デジタル表示：時刻/日付/曜日/温度/湿度

<アラーム機能>
■アラーム音最長継続時間：約5分
■アラーム間隔：約5分

<温度・湿度計測>
■使用温度範囲：0℃～+50℃
■温度表示：-9℃～+50℃ 精度：±2℃
（-9℃以下はLL表示、50℃以上はHH表示）
■湿度表示：室温0℃～+50℃で湿度は20～90%
精度：25℃で60%の時±7%
（20%以下はLL表示、90%以上はHH表示）
（室温0℃～50℃の範囲外は―表示）

■動力源：ソーラー/パワー及び単三型乾電池1個、パワー・セーブ（省エネ）機能
■電池寿命：約12カ月
（アラーム設定毎日1回・ライト1回使用した場合）
（300ルクス以上で16時間使用した場合）